

アライグマ・ハクビシンの被害を防止するために

アライグマの生態

特定外来生物※



- 形態** ・頭胴長:約 50cm。尾に縞模様がある。
・指が長く、足跡が分かりやすい。
- 性質** ・気性が荒く攻撃的。
- 生息** ・平地から山地の水辺に生息。
・家屋の屋根裏に住み着くこともある。
- 行動** ・夜行性
・垂直な雨樋でも爪を立てて登る。
・移動に側溝などを用いる。
- 繁殖** ・春～夏に、年 1 回 2～6 頭出産。
・出産はねぐらで行い、家屋の屋根裏を使用することもある。
- 食性** ・雑食性（好物：スイカ、ブドウ、トウモロコシ等の農作物、カエル、魚等）

ハクビシンの生態



- 形態** ・頭胴長:約 60 cm、尾が細長い。
・額に白い線がある。
- 性質** ・気性が荒く攻撃的。
- 生息** ・丘陵地の森林などに生息。
・家屋の屋根裏に住み着くこともある。
- 行動** ・夜行性
・爪がかからない箇所を肉球で登る。
・移動に側溝などを用いる。
- 繁殖** ・出産期は特にならない。1 回に 1～4 頭出産。
・出産はねぐらで行い、家屋の屋根裏を使用することもある。
- 食性** ・雑食性（好物：ミカン、カキなどの甘い果実、昆虫、鳥類の卵）

被害対策

1 エサを与えない

生ゴミやペットフード、野菜くず、収穫されずに放置されたカキなどの果実は、動物にとって格好のエサになり、知らず知らずに餌付けしていることとなります。撤去できるものは取り除き、できない場合は食べられないように管理を徹底しましょう。

2 ねぐらや繁殖場所を与えない

社寺や民家の屋根裏に休息場所を求めることが多く、居心地が良ければメスは出産場所としても利用します。侵入経路は大人の握りこぶしほどの隙間があれば十分で、床下の通風口や軒裏の隙間などから簡単に侵入します。日頃から家屋周辺を点検し、侵入されるような隙間は確実にふさいでおきましょう。

3 家屋から追い出したい

家屋に住み着いた小動物はエサを食べるために必ず外に出ます。出入り口となっている場所に、板等を立てかけておき、倒れる音がしたら穴を塞ぎましょう。天井裏から出て行く様子が無い場合は、天井を叩いて居心地を悪くする。それでも出て行かない場合はくん煙剤による追い出しが成功した事例もあります。侵入経路がわからない等お困りでしたら、まずは電話でご相談ください。



福井市有害鳥獣対策室 Tel20-5701

※特定外来生物

外来生物のうち、生態系や農林水産業、人の生活に悪影響を及ぼす恐れがある生物。